

令和 7年度 総合的な探究の時間 実施計画書

府立

桜塚

高等学校

課程等

全日制

科(系)

探究課題	私たちが生きるこれからの世界に必要なこと		実施学年(年次)	3
			単位数	1
指導体制	校内の「探究プロジェクトチーム」が全体計画を立案し、この計画案をもとに3学年の担任、必要に応じて副担任が協力して指導にあたる。	教材	各時の活動に必要なレジュメ、ワークアウト、その他の資料(ICTを活用したデータ資料とプリントした紙ベースの資料)のほか、外部教材(テキスト・動画)を適宜使用。必要に応じて外部講師の協力を仰ぐ。	
評価の観点	<p>【知識及び技能】 文献、メディアなど様々な情報リソースを駆使して、探究に必要な題材や資料などを手に入れることができる。手に入れた題材や資料をもとに、社会情勢や社会課題を的確に把握することができる</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自己の特性を的確に分析、認知できる。自らが社会課題の解決にどのように取り組んでいけるかを自己の特性と関連付けて考察し、その内容を表明することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 社会分析と自己分析を通じた探究活動をPDCAサイクルをとおして深めていくことができる。活動をとおして、探究内容を自らの進路実現に向けた実践に役立てることができる。</p>			
	具体的な学習活動など(箇条書きなどでまとめる)	評価方法・評価のポイント		
4月	・1年次・2年次の探究活動を踏まえて、自分の進路目標とかかわる探究テーマを各自で設定する。	知識・技能:情報収集・調査活動に的確に取り組んだ 思考・判断・表現:情報収集・調査活動に必要なデータや前提条件を過不足なく選択的に活用、共有ができる 主体的に学習に取り組む態度:積極的な態度で活動に		
5月	・1年次・2年次の探究活動を踏まえて、自分の進路目標とかかわる探究テーマを各自で設定する。	知識・技能:情報収集・調査活動に的確に取り組んだ 思考・判断・表現:情報収集・調査活動に必要なデータや前提条件を過不足なく選択的に活用、共有ができる 主体的に学習に取り組む態度:積極的な態度で活動に		
6月	・各自で設定した探究テーマに関する探究活動に適宜取り組む	知識・技能:情報収集・調査活動に的確に取り組んだ 思考・判断・表現:情報収集・調査活動に必要なデータや前提条件を過不足なく選択的に活用、共有ができる 主体的に学習に取り組む態度:積極的な態度で活動に		
7月	・各自で設定した探究テーマに関する探究活動に適宜取り組む	知識・技能:情報収集・調査活動に的確に取り組んだ 思考・判断・表現:情報収集・調査活動に必要なデータや前提条件を過不足なく選択的に活用、共有ができる 主体的に学習に取り組む態度:積極的な態度で活動に		
8月	・各自で設定した探究テーマに関する探究活動に適宜取り組む(夏季休業の課題)	知識・技能:情報収集・調査活動に的確に取り組んだ 思考・判断・表現:情報収集・調査活動に必要なデータや前提条件を過不足なく選択的に活用、共有ができる 主体的に学習に取り組む態度:積極的な態度で活動に		
9月	・各自で設定した探究テーマに関する探究活動をまとめ、発表準備を行う。	知識・技能:情報収集・調査活動に的確に取り組んだ 思考・判断・表現:情報収集・調査活動に必要なデータや前提条件を過不足なく選択的に活用、共有ができる 主体的に学習に取り組む態度:積極的な態度で活動に		
10月	・各自で設定した探究テーマに関する探究活動をまとめ、発表準備を行う。	知識・技能:情報収集・調査活動に的確に取り組んだ 思考・判断・表現:情報収集・調査活動に必要なデータや前提条件を過不足なく選択的に活用、共有ができる 主体的に学習に取り組む態度:積極的な態度で活動に		
11月	探究発表	知識・技能:情報収集・調査活動に取り組んだ結果が発表内容に的確に反映されている。 思考・判断・表現:発表内容と方法が的確で、内容を他者と共有することができている 主体的に学習に取り組む態度:積極的な態度で活動に参加し、他者と協働した取り組みができる		
12月	探究発表	知識・技能:情報収集・調査活動に取り組んだ結果が発表内容に的確に反映されている。 思考・判断・表現:発表内容と方法が的確で、内容を他者と共有することができている 主体的に学習に取り組む態度:積極的な態度で活動に参加し、他者と協働した取り組みができる		
1月	探究発表	知識・技能:情報収集・調査活動に取り組んだ結果が発表内容に的確に反映されている。 思考・判断・表現:発表内容と方法が的確で、内容を他者と共有することができている 主体的に学習に取り組む態度:積極的な態度で活動に参加し、他者と協働した取り組みができる		
	・各自で探究活動の振り返りを行う	知識・技能:情報収集・調査活動に取り組んだ結果が発表内容に		

2月		的確に反映されている。 思考・判断・表現:発表内容と方法が的確で、内容を他者と共有することができる 主体的に学習に取り組む態度:積極的に学習に取り組む態度:積極的な態度で活動に参加し、他者と協働した取り組みができるとともに、今後につながる振り返りができている
3月		

令和 7年度 総合的な探究の時間 実施計画書

府立 桜塚 高等学校 課程等 全日制 科(系)

探究課題	・理想のロールモデルを追及する ・近未来の社会と私の関わりをデザインする		実施学年(年次)	2
			単位数	1
指導体制	校内の「探究プロジェクトチーム」が全体計画を立案し、この計画案をもとに2学年の担任、必要に応じて副担任が協力して指導にあたる。	教材等	各時の活動に必要なレジュメ、ワークアウト、その他の資料(ICTを活用したデータ資料とプリントした紙ベースの資料)のほか、外部教材(テキスト・動画)を適宜使用。必要に応じて外部講師の協力を仰ぐ。	
評価の観点	<p>【知識及び技能】 文献、メディアなど様々な情報リソースを駆使して、探究に必要な題材や資料などを手に入れることができる。手に入れた題材や資料をもとに、社会情勢や社会課題を的確に把握することができる</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自己の特性を的確に分析、認知できる。自らが社会課題の解決にどのように取り組んでいけるかを自己の特性と関連付けて考察し、その内容を表明することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 社会分析と自己分析を通じた探究活動をPDCAサイクルをとおして深めていくことができる。活動をとおして、探究内容を自らの進路実現に向けた実践に役立てることができる。</p>			
	具体的な学習活動など(箇条書きなどでまとめる)	評価方法・評価のポイント		
4月	・1年次の探究活動で発表した理想のロールモデルが、社会に対してどのような影響を及ぼしているかを多角的に考察し、自分の進路目標とのかかわりを考える。・これからの社会がどのように変化していくかを予想し、10年後の世界の姿、地域社会の姿に関するグループ研究をすすめ、自分の進路目標とのかかわりを考える。	知識・技能:情報収集・調査活動に的確に取り組んだ 思考・判断・表現:情報収集・調査活動に必要なデータや前提条件を過不足なく選択的に活用、共有ができる 主体的に学習に取り組む態度:積極的な態度で活動に参加し、他者と協働した取り組みができる		
5月	・1年次の探究活動で発表した理想のロールモデルが、社会に対してどのような影響を及ぼしているかを多角的に考察し、自分の進路目標とのかかわりを考える。・これからの社会がどのように変化していくかを予想し、10年後の世界の姿、地域社会の姿に関するグループ研究をすすめ、自分の進路目標とのかかわりを考える。	知識・技能:情報収集・調査活動に的確に取り組んだ 思考・判断・表現:情報収集・調査活動に必要なデータや前提条件を過不足なく選択的に活用、共有ができる 主体的に学習に取り組む態度:積極的な態度で活動に参加し、他者と協働した取り組みができる		
6月	・ロールモデル研究をふまえて、社会とのかかわりという視点から自らの進路目標を具体的に考える。自らの強み、個性、特性、セールスポイント、課題点を整理する。整理した内容を他者に分かりやすく伝える工夫を考える。	知識・技能:情報収集・調査活動に的確に取り組んだ 思考・判断・表現:情報収集・調査活動に必要なデータや前提条件を過不足なく選択的に活用、共有ができる 主体的に学習に取り組む態度:積極的な態度で活動に参加し、他者と協働した取り組みができるとともに、次につながる振り返りができる		
7月	・ロールモデル研究をふまえて、社会とのかかわりという視点から自らの進路目標を具体的に考える。自らの強み、個性、特性、セールスポイント、課題点を整理する。整理した内容を他者に分かりやすく伝える工夫を考える。	知識・技能:情報収集・調査活動に的確に取り組んだ 思考・判断・表現:情報収集・調査活動に必要なデータや前提条件を過不足なく選択的に活用、共有ができる 主体的に学習に取り組む態度:積極的な態度で活動に参加し、他者と協働した取り組みができるとともに、次につながる振り返りができる		
8月	・これまでの活動をふまえて、自らの進路実現への道筋を具体的に考える。(夏季休業の課題)・沖縄についての調査活動を行う	知識・技能:課題に取り組んで、成果物を作成する 思考・判断・表現:課題作成に必要な情報収集・調査活動を的確にできる 主体的に学習に取り組む態度:課題の提出と、次につながる振り返りができる		
9月	・自らの進路目標実現のための行動プランを立案し、そのために必要な事項を整理する。	知識・技能:情報収集・調査活動に的確に取り組んだ 思考・判断・表現:情報収集・調査活動に必要なデータや前提条件を過不足なく選択的に活用、共有ができる 主体的に学習に取り組む態度:積極的な態度で活動に参加し、他者と協働した取り組みができるとともに、次につながる振り返りができる		
10月	・自らの進路目標を、そのための行動プランを立案し、そのために必要な事項を整理する。・修学旅行後に、沖縄に関する調査活動の振り返りを行う。	知識・技能:情報収集・調査活動に的確に取り組んだ 思考・判断・表現:情報収集・調査活動に必要なデータや前提条件を過不足なく選択的に活用、共有ができる 主体的に学習に取り組む態度:積極的な態度で活動に参加し、他者と協働した取り組みができる		
11月	行動プランの発表準備、発表	知識・技能:情報収集・調査活動に的確に取り組んだ 思考・判断・表現:情報収集・調査活動に必要なデータや前提条件を過不足なく選択的に活用、共有ができる 主体的に学習に取り組む態度:積極的な態度で活動に参加し、他者と協働した取り組みができるとともに、次につながる振り返りができる		
12月	行動プランの発表準備、発表	知識・技能:情報収集・調査活動に的確に取り組んだ 思考・判断・表現:情報収集・調査活動に必要なデータや前提条件を過不足なく選択的に活用、共有ができる 主体的に学習に取り組む態度:積極的な態度で活動に参加し、他者と協働した取り組みができるとともに、次につながる振り返りができる		

1月	行動プランの英訳、英語での発表準備、発表	<p>知識・技能:情報収集・調査活動に的確に取り組んだ 思考・判断・表現:情報収集・調査活動に必要なデータや前提条件を過不足なく選択し的確に活用、共有ができる</p> <p>主体的に学習に取り組む態度:積極的な態度で活動に参加し、他者と協働した取り組みができるとともに、次につながる振り返りができる</p>
2月	行動プランの英訳、英語での発表準備、発表	<p>知識・技能:情報収集・調査活動に的確に取り組んだ 思考・判断・表現:情報収集・調査活動に必要なデータや前提条件を過不足なく選択し的確に活用、共有ができる</p> <p>主体的に学習に取り組む態度:積極的な態度で活動に参加し、他者と協働した取り組みができるとともに、次につながる振り返りができる</p>
3月	各自で探究活動のふりかえりを行う。 次年度の探究活動テーマの予告	<p>知識・技能:情報収集・調査活動に的確に取り組んだ 思考・判断・表現:情報収集・調査活動に必要なデータや前提条件を過不足なく選択し的確に活用、共有ができる</p> <p>主体的に学習に取り組む態度:積極的な態度で活動に参加し、他者と協働した取り組みができるとともに、次につながる振り返りができる</p>

1月	<ul style="list-style-type: none"> ・発表内容の英訳作業 ・英語での発表活動(クラス) 	<p>知識・技能:英訳作業をスムーズに行える。 思考・判断・表現:発表に必要なリソースを選択し的確に活用、共有ができる。適切な発表活動に取り組める。 主体的に学習に取り組む態度:伝えたい内容を工夫して発表に盛り込んでいる。他者の発表を傾聴する態度を持っている。</p>
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・発表内容の英訳作業 ・英語での発表活動(学年) 	<p>知識・技能:英訳作業をスムーズに行える。 思考・判断・表現:発表に必要なリソースを選択し的確に活用、共有ができる。適切な発表活動に取り組める。 主体的に学習に取り組む態度:伝えたい内容を工夫して発表に盛り込んでいる。他者の発表を傾聴する態度を持っている。</p>
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・各自で探究学習のふりかえりを行う ・次年度の探究活動テーマの予告 	<p>知識・技能:これまでの活動をふりかえり、身につけた知識や技能を整理して定着させる。 思考・判断・表現:次年度の探究活動に向けて必要な活動内容を考察し、計画を立てられる。 主体的に学習に取り組む態度:積極的な態度で活動に参加し、他者とコミュニケーションを図りながら活動することができる</p>

令和 7年度入学生 総合的な探究の時間 全体計画

府立 桜塚 高等学校 課程等 全日制 科(系)

Table with 2 columns: 名称, 学校の教育目標, 学習指導要領第1目標, 目標. Content includes '総合的な探究の時間', '①学ぶ力をつける...', '探究の見方・考え方を働かせ...', and specific learning objectives.

Table with 2 columns: 探究課題, 内容. It details three stages of inquiry: 1. '探究オリエンテーション', 2. '理想のロールモデルを追求する', and 3. '私たちが生きるこれからの世界に必要なこと'. Each stage includes specific learning goals and implementation details.